

召会を建造するための、正常な牧養の道

聖書： I ヨハネ 5:16 前半、ヨハネ 21:15-17、イザヤ 50:4-5、I テサロニケ 1:3、マタイ 7:13-14

**I ヨハネ 5:16 前半** だれでも自分の兄弟が、死に至らない罪を犯しているのを見たなら、その人は祈り求めるべきです。そうすれば、彼はその人に、死に至らない罪を犯している人たちに、命を与えます。

**ヨハネ 21:15-17** 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上にわたしを愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの小羊を養いなさい」。イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を飼いなさい」。イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛するか?」。ペテロはイエスが三度目も自分に、「あなたはわたしを愛するか?」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を養いなさい」。

**イザヤ 50:4-5** 主なるエホバはわたしに、教えを受けた者の舌を与えられた。そして疲れた者を言葉をもって、いかに支えるかを知らせてくださる。彼は、朝ごとに、わたしを呼び覚まし、わたしの耳を呼び覚まして、教えを受けた者のように聞かせてくださる。主なるエホバは、わたしの耳を開かれた。わたしは逆らわず、退かなかった。

**I テサロニケ 1:3** あなたがたの信仰の働きと、愛の労苦と、わたしたちの主イエス・キリストにある望みの忍耐とを、わたしたちの神また父の御前で絶えず思い起こしています。

**マタイ 7:13-14** あなたがたは、狭い門から入りなさい。崩壊に至る門は広く、その道は幅広い。そして、そこから入って行く者が多い。命に至る門は狭く、その道は細いので、それを見いだす者は少ない。

**I. わたしたちは命を人に供給して、勝利を維持し召会を建造するために、主に対する愛から流れ出る復興された生活と牧養することでの労苦を持たなければなりません——I ヨハネ5:16前半、ヨハネ21:15-17:**

- A. 日ごとにわたしたちは、新鮮な献身と主との直接の接触を必要とします。それによってわたしたちは彼に語り、彼はわたしたちに語ります。毎朝、わたしたちの太陽である主イエスに、わたしたちの中で昇っていただき、わたしたちが更新されることができるようになります——レビ 6:12-13、マラキ 4:2、詩 119:147-148、箴 4:18。
- B. わたしたちは主の光の下で主によって徹底的に対処され、彼の臨在の中で徹底的な悔い改めと告白を持つ必要があります。主がわたしたちを対処するとき、わたしたちが彼に聞き従うなら、わたしたちは時機を得た言葉を持って、人を助け、疲れた人を支えるでしょう——エペソ 5:14、I ヨハネ 1:7, 9、イザヤ 50:4-5、出 21:5-6。
- C. わたしたちは負担を取って、未信者、若い信者、新しい信者、弱い信者を顧みなければなりません——マタイ 4:19、ヨハネ 21:15-17、雅 1:7-8。
- D. わたしたちは真の愛の心を持ち、養う母、また勧めをする父のように人を顧みなければなりません。わたしたちの新しい誕生において得た性情は、人を顧みるために、わたしたちの自己、魂、命の性情でさえ犠牲にするものです——ヨハネ 3:16、マルコ 10:45、I テサロニケ 2:7, 11、II コリント 12:14-15、I コリント 9:22。

**II. わたしたちは定期的に人と接触する習慣を建て上げ、以下の実行上の点にしたがって人を牧養しなければなりません——使徒20:28, 31、I ペテロ2:25、5:1-4:**

- A. 性急であってはなりません。むしろ準備して、人と十分な時間を費やさなければなりません。
- B. 主導的に人と接触することで、積極的であって、たるんでいてはなりません。
- C. どのように人の話を聞くかを学び、彼らの真の必要と実際の状態を認識しなければなりません。
- D. 人を訪問するとき、話しすぎないように学ばなければなりません。
- E. 決して人に対して主張してはなりません。これは自分が彼らよりすぐれていると考えることです。
- F. 人が正しくても間違っている、決して人と議論してはなりません。
- G. 決してむなしい知識を人に伝えてはなりません——参照、Ⅱコリント 3:6。
- H. 決してどのような消極的な話にも陥ってはなりません。
- I. 人に誠実であり、決して人に対して装ったり政治的な手腕を用いたりしてはなりません。
- J. 命を人に供給しなければなりません。
- K. 率先して人と一緒に祈り、人を助けて祈らせ、祈りの生活にもたらさなければなりません。
- L. 忍耐をもって絶えず人と接触しなければなりません。
- M. わたしたちの顧みの下にある人を信用し信頼しなければなりません。
- N. わたしたちの顧みの下にある人のだれにも、わたしたちが彼らに強いて何かを行なわせているという感覚を決して与えてはなりません。
- O. わたしたちのキリストの経験にしたがって、人と交わらなければなりません。

**Ⅲ. わたしたちは命の経験において人を牧養し、召会を建造しなければなりません——ローマ 15:16, 12:1, コロサイ 1:28—2:1:**

- A. 召会の証しのために、わたしたちは人を牧養し、命の経験の各段階を経過させなければなりません。わたしたちは新しい人の霊的な段階を知り、一般的な方法で彼らを召会の現在の流れの中にもたらし、特別な方法で彼らが必要としている助けを与えなければなりません。
- B. わたしたちは人を召会生活の中に建造し、彼らを建造して機能させ、日常の福音を宣べ伝える生活を持たせ、人を牧養させ、召会を認識させなければなりません。

**Ⅳ. バイタルグループはⅠテサロニケ第1章3節の、信仰の働き、愛の労苦、望みの忍耐に関する使徒の祈りにしたがって、努力して人を牧養するべきです:**

- A. わたしたちの信仰は、神と彼の力の中にあり、神の霊と彼の言葉の中にあるのであって、わたしたちの才能、方法、別の事物の中にはありません。信仰の働きは、わたしたちのクリスチャン生活と奉仕の基礎です。
- B. 愛の労苦は、わたしたちの信仰の働きの内在的な動機、内なる命、真の力、実を結ぶかぎです。
- C. 望みの忍耐は、わたしたちの信仰の働きを長続きさせます:
  1. 望みの忍耐は、あらゆる種類の失望、喪失、不可能なことを克服します。それはあらゆる種類の反対、障害、阻止に打ち勝ちます——Ⅰコリント 15:10, 58. Ⅱテサロニケ 3:5。
  2. そのような忍耐は、罪人を得ること、信者たちを養うこと、聖徒たちを成就すること、神とキリストの王国のために、召会、キリストのからだを建造することで完成します——Ⅱコリント 6:4. Ⅰコリント 15:58。

**Ⅴ. バイタルグループで牧養することでの神の定められた道は、狭く細い生活と働きを持つことで——マタイ 7:13-14:**

- A. 多くの人はいくつから入り、幅広い道を歩き、この世の体系にしたがって、天然の味わいを満足させ、群衆を得て、人の事業を維持し、人の企業を成就します。
- B. わたしたちは訓練して少数の者となり、狭い門から入り、細い道を歩いて、神の選びの民をもたらし、イエス・キリストの証しを担い、神のエコノミーを完成します。